

# 平成23年度病害虫発生予報第6号(9月予報)

<お知らせ> 平成23年度病害虫発生予察技術情報第3～6号を発表しました。  
平成23年3月末をもって、北部駐在は閉所となりました。

## 今月のトピックス

## つる割病 (ニガウリ)

学名 : *Fusarium oxysporum*



## 生態と被害

本病は結実が始まる頃から症状が現れ始める。初め株の片側の茎葉が萎れ、葉では脈の黄化がみられる。地際部近くの茎の導管は褐変しており、茎表面に茶色の条斑が見られることもある。最終的には株全体が萎れ枯死に至る。病原菌は土壤中で厚壁胞子の形で長期間生存する。土壌伝染や種子伝染を行い、土壌伝染の場合は根から菌が侵入し、導管内を菌が進行する。本菌は厚壁胞子のほかに、小型分生子や大型分生子を形成する。小型分生子は無色単胞で楕円形ないし長楕円形、大型分生子は無色三日月型で1～5隔壁(3隔壁優勢)を有する。ウリ類のつる割病菌はいくつかの分化型に分かれており、本菌はニガウリのほかにユウガオにも病原性を示すがキュウリやスイカ、ヘチマ等には示さない。カボチャ(品種:新土佐)台木を使用することで本病を防ぐことができる。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

平成23年9月1日  
沖縄県病害虫防除技術センター

## 9月の気象予報

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	40	40	20
平 年 並	40	40	40
低い(少ない)	20	20	40

(平成23年8月26日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

### 地点別の平年値

	平均気温( )	最高気温( )	最低気温( )	降水量(mm)	日照時間(h)
沖縄群島(那覇)	27.6	30.4	25.5	260.5	188.9
宮古群島(宮古島)	27.4	30.0	25.3	230.0	184.6
八重山群島(石垣島)	27.9	30.7	25.8	257.7	193.6

(沖縄気象台発表・統計期間1981～2010・資料年数30年)

## 9月の発生予報概要

作 物	病 害 虫 名	発 生 量		
		沖縄群島	宮古群島	八重山群島
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	-	やや少	並
へちま	ハモグリバエ類	やや多	-	-
にがうり(露地)	斑点病	並	-	-

### その他注意すべき病害虫等

本文中では (白丸)にて表記

作 物	病 害 虫 名	対 象 地 域		
		沖縄群島	宮古群島	八重山群島
水稻(二期作)	スクミリンゴガイ			
さとうきび	イネヨトウ			
	バッタ類			
	メイチュウ類・土壌害虫			
	野そ			
かんきつ	かいよう病			
	サビダニ類			

## その他注意すべき病害虫等

本文中では (白丸)にて表記

作物	病害虫名	対象地域		
		沖縄群島	宮古群島	八重山群島
マンゴー	枝枯細菌病			
	栄養生長期における病害虫			
	チャノキイロアザミウマ			
にがうり(露地)	ホコリダニ類			

## 予報の見方

「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。

# 平成23年度沖縄群島病害虫発生予報第6号(9月予報)

## 9月の気象予報

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	40	40	20
平 年 並	40	40	40
低い(少ない)	20	20	40

(平成23年8月26日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

## 平年値

	平均気温( )	最高気温( )	最低気温( )	降水量(mm)	日照時間(h)
沖縄群島(那覇)	27.6	30.4	25.5	260.5	188.9

(沖縄気象台発表・統計期間1981～2010・資料年数30年)

## 9月の発生予報および防除上の注意事項

### 1 さとうきび

植付期におけるイネヨトウの防除対策

- 現在沖縄群島にイネヨトウが多発生しており、植付後の被害が懸念される。
- 植付時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し、植溝施用する。
- 薬剤散布の際は、近隣作物へのドリフト(飛散)に注意する。
- 平成23年度病害虫発生予察技術情報第3号(平成23年9月1日付)参照。

### 2 かんきつ(たんかん、シークワサー)

かいよう病の防除対策

- 罹病した夏秋枝は翌年の伝染源となるので除去する。
- 台風情報に留意し、台風の影響を受ける前に薬剤防除を行うと効果的である。

サビダニ類(ミカンサビダニ、リュウキュウミカンサビダニ)の防除対策

- 例年8月より発生が多くなることから、早期発見に努め発生初期の防除を徹底する。
- 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

### 3 マンゴー

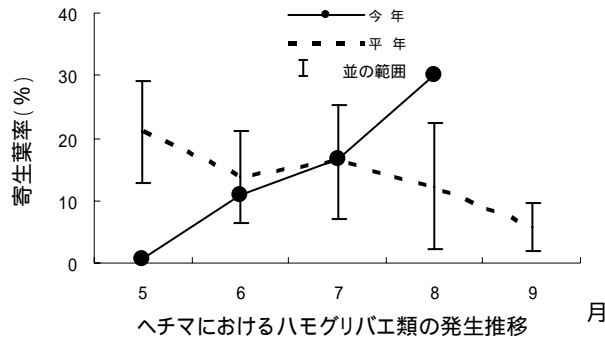
チャノキイロアザミウマの防除対策

- 8月下旬の調査の結果、葉当たり虫数は0.1頭(前年0.4頭、平年2.2頭)とやや少なかった。また一部の施設で本種が多発生していた。
- 灌水を行う際、噴霧機などで本種を洗い流すように散水し、密度低減を図る。
- 発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

## 4 へちま

- (1) ハモグリバエ類  
発生程度 : やや多  
予報の根拠

- a 8月下旬の調査の結果、寄生葉率は30.2% (前年0%、平年12.2%)と平年よりやや高かった。  
b 気象予報によると向こう1か月の気温は平年並または高い確率が40%、降水量は平年並または多い確率が40%と予想されており、発生はやや多のまま推移すると考えられる。



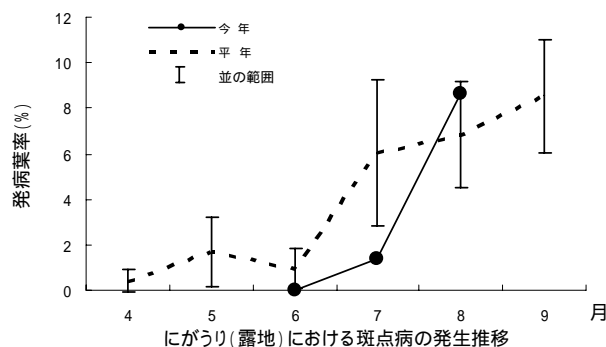
< 防除上注意すべき事項 >

- a 多発してからは防除が困難になるため、早期発見・早期防除に努める。  
b 発生源となる圃場内外の雑草を除去する。

## 5 にながうり(露地)

- (1) 斑点病  
発生程度 : 並  
予報の根拠

- a 8月下旬の調査の結果、発病葉率は8.6% (前年14.7%、平年6.8%)と平年並であった。  
b 気象予報によると向こう1か月の降水量は平年並または高い確率が40%と予想されており、本病の発生が助長されやすいと考えられる。



< 防除上注意すべき事項 >

- a 老葉や病葉は発生源になるので除去し、圃場外に持ち出し処分する。  
b 多湿にならないよう、圃場の排水をよくする。  
c 葉をよく観察し、初期防除を徹底する。

### ホコリダニ類の防除対策

- a 8月下旬の調査の結果、寄生株率は26.0%であった。また一部圃場で寄生株が多く見られた。  
b 生長点付近に寄生することが多く、生長が停止し、芯止まり症状を生じる。  
c 加害された葉は奇形になる他、葉縁が裏側に巻き込み、葉裏が光沢を帯びることから、生長点付近や新葉をよく観察し、早期発見・早期防除に努める。

## 平成23年度宮古群島病害虫発生予報第6号(9月予報)

### 8月の気象予報

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	40	40	20
平 年 並	40	40	40
低い(少ない)	20	20	40

(平成23年8月26日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

### 平年値

	平均気温( )	最高気温( )	最低気温( )	降水量(mm)	日照時間(h)
宮古群島(宮古島)	27.4	30.0	25.3	230.0	184.6

(沖縄気象台発表・統計期間1981～2010・資料年数30年)

### 9月の発生予報および防除上の注意事項

#### 1 さとうきび

植付期および生育初期におけるメイチュウ類および土壌害虫の防除対策

- a 8月の中旬の調査の結果、夏植におけるメイチュウ類の被害茎率は3.2%、春植・株出における芯枯茎率は、0.6%であった。
- b 8月のカンシャシクイハマキ合成性フェロモントラップによるトラップ当たり日当たり誘殺虫数は3.2頭(前年3.2頭、平年4.7頭)と平年並であった。
- c 例年植付後に、メイチュウ類およびハリガネムシによる芯枯れおよび不萌芽が発生する。
- d 植え溝に薬剤(粒剤)を適正に処理する。
- e 生育初期のメイチュウ類の防除は、食入初期の幼虫を対象に薬剤防除を行う。
- f 薬剤散布の際は、近隣作物へのドリフト(飛散)に注意する。
- g 平成23年度病害虫発生予察技術情報第3号(平成23年9月1日付)参照。

野その防除対策

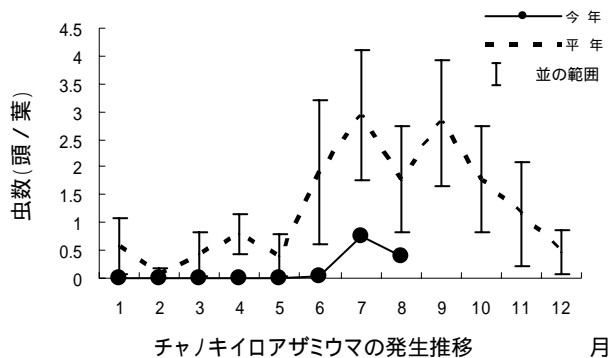
- a 8月中旬の調査の結果、被害茎率は0.1%(前年0.2%、平年0.4%)と平年よりやや低かった。
- b 雑草が繁茂した環境を好むことから、除草を行う。
- c 剥葉残渣などの野積みに巣を作ることから、野積みを行わない。
- d 被害の多い地域では薬剤による一斉防除を行う。

## 2 マンゴー

### (1) チャノキイロアザミウマ

発生程度 : やや少  
予報の根拠

8月中旬の調査の結果、チャノキイロアザミウマの葉当たり虫数は0.4頭(前年3.1頭、平年1.8頭)とやや少なかった。



#### < 防除上注意すべき事項 >

- 多発すると防除が困難となるので早期発見・早期防除に努める。
- 灌水を行う際、噴霧器などで本種を洗い流すように散水し、密度低減を図る。
- 発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

#### 栄養生長期における病害虫防除対策

- 8月中旬の調査の結果、ハダニ類の葉当たり虫数は0.3頭(前年2.7頭)であった。また、一部の施設でコシロモンドクガ、ナカジロフサヤガの被害がみられた。
- ハダニなど微小害虫は、多発すると防除が困難になるので早期発見・早期防除に努める。
- 灌水を行う際、噴霧機などで微小害虫を洗い流すように散水し、密度低減を図る。
- 剪定を行った後の残渣は、病害虫の発生源となるため、速やかに施設外に持ち出し処分する。
- 台風等の風雨害を受けると、炭疽病やかいよう病の発生が助長されることから、予防散布を心がける。

## 平成23年度八重山群島病害虫発生予報第6号(9月予報)

### 9月の気象予報

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	平均気温	降水量	日照時間
高い(多い)	40	40	20
平年並	40	40	40
低い(少ない)	20	20	40

(平成23年8月26日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

### 平年値

	平均気温( )	最高気温( )	最低気温( )	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山群島(石垣島)	27.9	30.7	25.8	257.7	193.6

(沖縄気象台発表・統計期間1981～2010・資料年数30年)

### 9月の発生予報および防除上の注意事項

#### 1 水稲(二期作)

移植後のスクミリンゴガイの防除対策

- a 例年、スクミリンゴガイの被害は二期作に多くみられる。
- b 8月下旬の調査の結果、本田や用水路に卵塊及び稚貝がみられた。
- c 卵塊及び貝は見つけ次第捕殺する。なお捕獲するときにはゴム手袋を着用する。
- d 取水口に金網(5mm以下)を設置し、用排水路からの侵入を防ぐ。
- e 本田での食害は移植後2週間頃に集中することから、移植後2～3週間は浅水管理(1cm以内)に努め貝の活動を抑えるとともに、薬剤を施用し被害を抑える。
- f 畦畔および水路周辺の雑草を除去し、産卵場所をつくらない。

#### 2 さとうきび

バッタ類の防除対策

- a 8月中旬の調査の結果、与那国島の一部圃場でバッタ類の多発生がみられた。
- b 圃場及び周辺の除草を徹底する。
- c 発生圃場では早期に薬剤防除を行う。
- d 薬剤散布の際は、近隣作物へのドリフト(飛散)に注意する。

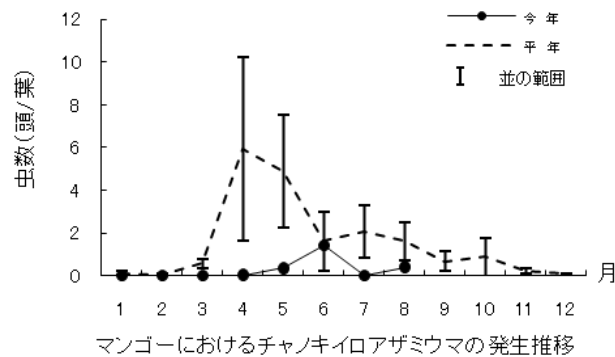


### 3 マンゴー

#### (1) チャノキイロアザミウマ

発生程度 : 並

8月中旬の調査の結果、葉当たり虫数は0.4頭(前年0.3頭、平年1.6頭)と平年よりやや少なかった。



#### < 防除上注意すべき事項 >

- 多発すると防除が困難となるので早期発見・早期防除に努める。
- 灌水を行う際、噴霧器などで本種を洗い流すように散水し、密度低減を図る。
- 発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

#### 枝枯細菌病の防除対策

- 例年、枝枯細菌病は8月後半から発生がみられる。
- 本病は折損等の傷から菌が侵入し発病することから防風対策を図る。
- 罹病した部位は速やかに施設外に持ち出し、焼却等の処分を行う。
- 罹病枝を剪定した後の剪定器具の消毒を徹底する。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



## 沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

- |       |   |
|-------|---|
| 本所    | 〒902-0072 那覇市字真地123<br>TEL 098-886-3880、098-886-0227<br>FAX 098-884-9119      |
| 北部駐在  | 〒905-0012 名護市名護4605-3(農業研究センター名護支所内)<br>TEL 0980-51-1537 FAX 0980-51-1538     |
| 宮古駐在  | 〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40(農研センター宮古島支所内)<br>TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474 |
| 八重山駐在 | 〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6(農研センター石垣支所内)<br>TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157    |